

各都道府県連盟 殿  
JDSF各ブロック殿

(公社) 日本ダンススポーツ連盟  
競技本部長 山口 剛  
競技部長 蒲生志津雄  
普及本部長 中道 俊之  
指導部長 吉川 英司  
技術認定部長 古川靖人

競技会、研修会等開催における新型コロナウイルス感染症対策について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素はJDSFの活動に絶大なるご協力、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第22回東京オープンの実施についてJDSFでは2月20日に「新型コロナウイルス感染症対策」を定めホームページで公表しました。

各都道府県連盟主催競技会、JDSF各ブロック主催競技会、講習会、研修会、技術認定会等の開催は、主催者の判断の下、行っていただくこととなりますが、判断に当たっては、別紙に記載の点に御留意いただくなど、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期していただくよう御配意願います。

また、このことについて、貴連盟（ブロック）傘下の各団体に対しても周知下さいますようお願いいたします。

JDSFのホームページ [http://www.jdsf.or.jp/news/2020/02/post\\_6338/](http://www.jdsf.or.jp/news/2020/02/post_6338/)

新型コロナウイルス感染症対策に関する留意事項について

1 情報収集について

当該競技会、研修会等の開催地域を所管する地方衛生研究所や保健所等が発信する最新の感染症発生動向等には十分留意し、必要に応じ、地域の保健衛生部局の担当者等感染症対策に知見を有する者に相談しつつ、下記2に掲げる対策の検討・実施に取り組むこと。

2 当該競技会、研修会等の対策について

(1) 会場における衛生管理の徹底

会場の出入り口にアルコール消毒液の設置等を行うとともに、特に多くの人が触れる場所については清掃頻度を上げるなど、会場における衛生管理の徹底を図ること。

(2) 選手向けの取組

新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報提供を行うとともに、選手の滞在場所にアルコール消毒液を設置するなど、衛生管理に向けた取組を実施すること。

(3) スタッフ向けの取組

新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報提供を行うとともに、咳エチケットや頻繁な手洗い等の実施の周知を徹底すること。また、発熱等風邪の症状がみられる者については、会場への入場を控えるよう指示すること。

(4) メディアへの対応

会場の特性等を踏まえ、メディアを含めた関係者との接触についても、例えば取材時に選手への飛沫感染の防止を図るための協力を要請する等感染リスクの低減を図るための措置を行うことを検討すること。

(5) その他

当該競技会、研修会等の開催に当たっては、感染リスクの低減を図る観点から、観客の入場の縮減等を図ることも考えられること。また、発熱等風邪の症状がみられる方には入場を控えていただくよう依頼するとともに、入場を認める場合にも、咳エチケットや頻繁な手洗い等の実施の周知を徹底し、選手との握手等、観客が選手と接触する機会はできるだけ避けること。